

はじめに

茨城県衛生研究所年報56号ができあがりましたのでご案内いたします。

当所は、地域の公衆衛生の向上と増進を図るため、調査研究、試験検査、研修指導及び公衆衛生情報の収集・解析・提供を行っております。

重要な役割として担う食中毒や感染症等の行政依頼検査及びその延長線上にある調査研究は、職員削減による技術継承、検査機器の老朽化、定型業務の削減やアウトソーシング、研究費の削減等の課題を背景に、縮小化への方向にある一方、医療従事者等の外部人材育成や一般県民向けの出前講座の開催といった普及啓発や情報発信業務の依頼が増えており、時代と共に変化する社会的ニーズに、茨城県の公衆衛生の科学的・技術的中核機関ならではの知識・技術を活かして積極的に取り組んでおります。

平成29年度は、県民の皆様方の「安全・安心」の確保に向けて、試験検査業務はもちろんのこと、調査研究では、県民ニーズと一定の成果を踏まえ、地域の公衆衛生の向上に一層寄与される研究課題につつまして、関係機関とさらなる連携を図り情報の共有や発信がされるよう、研究内容を拡充するための企画立案をいたしました。

今後も、質の高い試験検査と地域における健康危機管理の責務を担えるよう、職員一同、努力と研鑽を積んで参ります。

関係者の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご指導とご助言をくださいますようお願い申し上げます。

平成30年 12月

茨城県衛生研究所長 池田 良明